

令和4年度補正
品目団体輸出力強化緊急支援事業

欧州（英国、フランス）におけるメロンのプロ
モーション及び市場調査

静岡県温室農業協同組合
クラウンメロン支所

A:欧州、メロン（クラウンメロン）

出張期間 ① 2023年9月6日から14日
② 2024年2月22日から3月1日

① 出張行程

月日	時間	場所	内容
9/6 (水)	午後	羽田空港周辺	早朝便のため前泊
9/7 (木)	午前 9:40	羽田空港	移動
	午後 11:25	トゥールーズ空港	到着
9/8 (金) ~9 (土)	終日	トゥールーズ市内 (Hotel Albert 1er)	試食イベント出展
9/10 (日)		トゥールーズ→パリ	移動
	午後	パリ市内	商談
9/11 (月)	午前	在フランス日本国大使館	打ち合わせ
	午後	パリ→ロンドン	移動
	午後	ロンドン周辺	商談
9/12 (火)	午前	ロンドン周辺	商談
	午後	在英国日本国大使館	打ち合わせ
9/13 (水)	終日	ロンドン周辺	商談、同行営業
	午後 7:00	ヒースロー空港	出発
9/14 (木)	午後 5:05	羽田空港	帰国

② 出張行程

月日	時間	場所	内容
2/22 (木)	午後	袋井→羽田空港周辺	早朝便のため前泊
2/23 (金)	午前 9:45	羽田空港	出発
	午後 4:25	パリ空港	到着
2/24 (土) ~25 (日)	終日	PARIS EXPO PORTE DE VERSAILLES	展示会出展
2/26 (月)	午前	パリ→ロンドン	移動
	午後	ロンドン周辺	商談
2/27 (火)	昼	ロンドン周辺	商談、同行営業
	夕方～夜	在英国日本大使館	レセプション出展
2/28 (水)	昼	ロンドン市内	商談、同行営業
	夕方～夜	在英国日本大使館	レセプション出展
2/29 (木)	昼	ロンドン市内	商談
	午後 7:00	ロンドン空港	出発
3/1 (金)	午後 5:55	羽田空港	帰国

A:欧州、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ①2023年9月6日から14日

1-1 クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション

- ・ラグビーW杯の日本戦に合わせてフランス・トゥールーズで開催された日本食のPRイベント（JETRO主催）に参加した。2日間で約500人にクラウンメロンを試食いただき、併せてクラウンメロンの説明を行った。総じて大変好評であったが、日本食のイベントで来場者も日本への関心が高く、日本で食べたという方や、メディアで見たことがあるという方もいた。
- ・上記イベントの後、パリにて新規にクラウンメロンを取り扱うレストランへ出向き、スタッフを集めてクラウンメロンのワークショップを開催した。クラウンメロン特徴やストーリー、管理方法について伝え、お客様への提供方法についてもレクチャーを行った。
- ・その後、パリからロンドンへ移動し、現地でのディストリビューター候補となる商社と商談、及び同商社と連携しての同行営業を実施した。訪問したレストランでは、日本の高級青果物を探していたという話をいただき、早速成約に繋がったところもあった。



トゥールーズでのイベントの様子



パリの取引先レストランのスタッフを集めてのクラウンメロンに関するワークショップを実施



ロンドンの取引先にて商談とクラウンメロンの試食会を実施

A:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ②2024年2月22日から3月1日

1-2 クラウンメロンの販路拡大のための商談及び現地プロモーション

- ・パリで開催された国際農業見本市（SIA）にてJETROが日本食をプロモーションするブースを設け、その中でクラウンメロンのプロモーションを行った。2日間で約500人に試食を提供し、併せて感想を聞き取りした。品質は大変高評価であったが、フランスでの想定価格を伝えると、高すぎて買えないという意見が多かった。ただし、一木一果等のクラウンメロンの特徴を説明することで、なぜ高いかということに一定の理解は得られている様子であった。
- ・上記イベント参加後、ロンドンへ移動し、在英国日本国大使館主催の天皇誕生日祝賀レセプションに参加し、同様に来場者へクラウンメロンの試食提供を行った。イギリスでは、既にクラウンメロンの継続した輸出が始まっており、どこで買えるのかを説明することで、効果的なプロモーションが出来たと感じる。
- ・ロンドンのクラウンメロンを新規に取り扱うようになった小売店やレストランへ訪問し、クラウンメロンの管理方法について説明するとともに、更なる取引拡大に向けての商談を実施した。また、現地ディストリビューターと連携し、更なる販路拡大のための同行営業を実施した。



パリ国際農業見本市にてJETROパビリオン内にクラウンメロンPRブースを設置



在英国日本大使館でのブースの様子



クラウンメロンの取扱が開始したロンドンの小売店にて

B:欧州、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ①2023年9月6日から14日、②2024年2月22日から3月1日

2 フランス・イギリスでの市場調査

- ・フランスについては、日本からまとまった青果物の輸出ルートが限られており、メロンの輸出に当たっては非常に高額な輸送費がかかる。一方、イギリスにおいては、クラウンメロンを始め、日本の高級青果物を扱うレストランや小売店が徐々に出てきており、輸送費についても、まとめて輸送することでフランスに比べて安価になっている様子である。
- ・フランス・イギリスともに、現地にてクラウンメロンの品質の高さは十分に理解してもらえたと思うが、特にフランスにおいては、フランスのメロンでも十分美味しいということで、クラウンメロンの価格についての理解が得づらく感じた。
- ・特にイギリスにおいては、高級日本食レストランが続々新規開店しており、そうしたレストランのデザートとして日本の高級青果物の需要は大きいと感じる。



写真左：
パリのレストランのコースの
デザートで提供されるクラウ
ンメロン

写真右：
欧州産の果物が並ぶロンドン
の高級スーパー

B:欧州、メロン（クラウンメロン）

実施期間 ①2023年9月6日から14日、②2024年2月22日から3月1日

3 欧州事業総括

- ・今回事業を実施したフランス・イギリスにおいて、食に対する意識の高さや、客単価の高い高級レストランの成功事例を目にすることで、日本産青果物の輸出拡大の可能性を感じることができた。クラウンメロンだけでなく、日本産青果物の認知度が依然低い欧州においてプロモーションを継続することで、将来的な販路の拡大が期待できると考える。
- ・特にイギリスにおいては、日本の食材を使用する高級レストランが増えており、クラウンメロンを使用する店も徐々に増えてきている。
- ・クラウンメロンの種はイギリス由来であり、その種を日本で100年以上の年月をかけて現在のクラウンメロンに発展させてきたというストーリーがある。クラウンメロンの品質の高さの説明に加え、こうしたストーリーも伝えることで、特別なメロンと認知させ、更なる販路の拡大を目指したい。